

# だんだん広がる、わせだみち

Walkable Street Design + Management  
 —多様な生活者が緩やかにつむぐ、日常と非日常のあいだ—

震災復興による建設された早稲田通りは、賑わい、静寂など特徴ある地区を巡り、北の丸公園へと辿り着く。この道を中心とした整備を実施し、まちに新たな命を吹き込む。交差点の辻の空間や、街路デザインの妙が、人々の道の使いこなしを誘う。北の丸公園とその周囲は、歩きやすさを追求することで、早稲田通りと一体化した、緩やかな回遊性がもたらされる。誰かの生活と、誰かの生活が重なり合って、このまちらしい生活のあり方が、だんだんと広がっていく。わせだの道とともに。

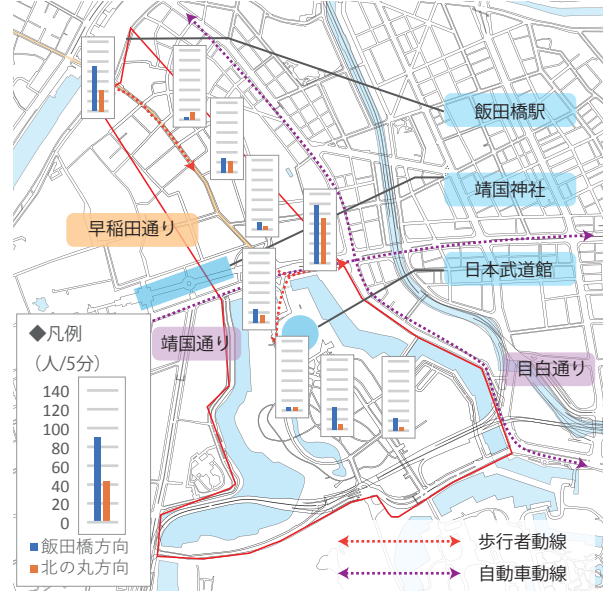
## ■提案コンセプト

早稲田通りの参道性を読み解き、その延長線上である北の丸公園やその周辺部分を、それぞれの個性に合わせて一体的にデザインしていく。つまり、街路のデザイン及びマネジメントを通した、50年後の早稲田通り及び周辺一帯の空間像を提案する。

街路空間の物理的、意味的な拡張と、その空間と周辺における回遊性向上をもたらす仕掛けの数々が、人々のアクティビティを許容し、ここにしかない新たな価値が、早稲田通りを中心に広がっていく。

## ■歩行者交通量と動線

歩行者の動線は早稲田通りや目白通り沿いにあるものの、飯田橋駅周辺、日本武道館・靖国神社周辺で完結している。早稲田通りよりも、並行する目白通りと直行する靖国通りが周辺交通の軸となっている。



## ■提案内容

